

屋島の名勝的価値に関する調査

上杉 和央

1. 調査概要

平成 26 年度、香川県高松市より市域に存在する「屋島」の名勝的価値についての委託調査事業を受託した。

「屋島」は昭和 9 年（1934）に国の史跡・天然記念物に指定された。同年には瀬戸内海国立公園も指定されたが、その代表的な地点としても認められた。戦後、法律の変更などはあったが、現在もなお、国史跡・天然記念物であり、国立公園の一角を占めている。

一方、「屋島」は名勝的価値も存するという議論が戦前期より存在したが、結局、十分な調査がなされぬまま現在に至っている。

今回の調査は、「屋島」が歴史的にどのように表象されてきたのかについての総合的な検討を行う者である。

受託研究を遂行するに当たり、調査チームを設定した。

研究代表者：上杉和央…総括。絵画資料・文学作品・ガイドブックなどの検討

研究分担者：東昇（京都府立大学文学部准教授）…旅日記や藩関連史料の検討

橘セツ（神戸山手大学現代社会学部教授）…「瀬戸内海」イメージの検討

また、実際の調査に当たっては、京都府立大学大学院文学研究科史学専攻に在籍する大学院生、また京都府立大学文学部歴史学科に在籍する学部生などの協力を仰いだ。

なお、本受託研究は平成 27 年度も継続して実施されるため、調査報告書のとりまとめと刊行は次年度に行う予定である。

2. 現地調査

調査については研究代表者、研究分担者がそれぞれ各自の分担内容に沿って実施した。そのうち、研究代表者によって組織された現地調査は下記のような要領で実施された。

第 1 回

日時：平成 26 年 8 月 5 日～8 月 7 日

場所：高松市歴史資料館、香川県ミュージアム、香川大学、屋島

調査者：上杉和央（研究代表者）

宮下遥（4 回生）、稲穂将士・山崎祐紀子（修士 1 回生）、島本多敬・松村祥志（修士 1 回生）、川口成人（博士後期 1 回生）、長谷川奨悟（学振 PD）、佐々木夏妃（京都大学大学院文学研究科修士 2 回生）

調査内容：各資料館に所蔵している資料から「屋島」に関する資料を探し、それらの目

録化と記載内容についての調書作成。

屋島に赴き、屋島周辺からの屋島の眺望および、屋島山上からの眺望の調査。

第2回

日時：平成26年12月19日～21日

場所：香川県立図書館、香川県公文書館、高松市立図書館

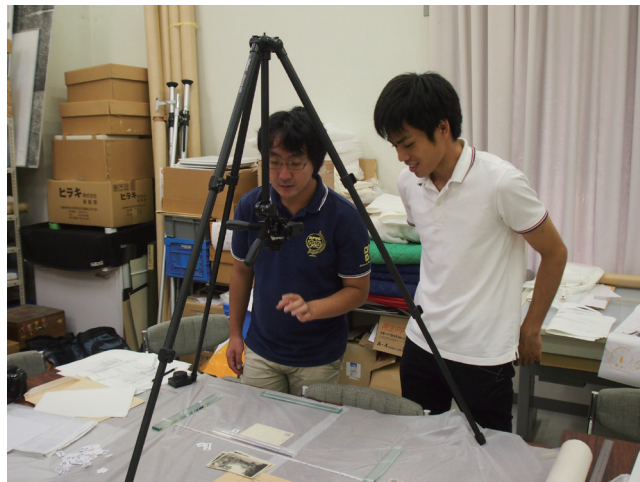
調査者：上杉和央（研究代表者）

稲穂将士・山崎祐紀子（修士1回生）、川口成人（博士後期1回生）

調査内容：各資料館に所蔵している資料から「屋島」に関する資料を探し、それらの目録化と記載内容についての調書作成。

3. 調査検討会

現地調査で得られた内容についての中間報告とその後の方針について検討する会議を平成26年10月25日に実施した。



資料撮影風景（平成26年8月5日）



屏風の調査（平成26年8月6日）